

# ガイドマップ 竜串海岸 見残し海岸

考えながら歩く



QRサインせんせ



1 QR読み込み

2 情報へアクセス

3 マップ



4 トップページ

5 スポット情報

アプリを使って  
歩いてみよう！



地球はみんなの宝物、大切に。

長い時間をかけてつくられ、過去の記憶を現代に伝える大地の遺産、そして、その上で暮らしている動物や植物…あらゆるものが土佐清水ジオパークの宝物。無許可の採取や損傷は絶対にやめよう。



残していいのは、足跡だけ。

美しい景観、美しい地球を保つため、ゴミはきちんと持ち帰ろう。未来にゴミだらけの地層を残すことのないように。



災害の発生リスクあり！

「生きている惑星、地球」には自然災害は付き物。特に土佐清水では、南海トラフ地震や津波の危険性が高い。事前に避難経路を確認し、揺れを感じたら、すぐに高台へ逃げよう。



## エリアマップ 竜串・見残し海岸周辺

### 1 足摺海洋館 SATOUMI

海の生き物の魅力がいっぱい  
開館時間 9:00-17:00  
年中無休  
入館料 大人 1200円 小人 600円  
TEL 0880-85-0635

### 2 足摺海底館

竜串のランドマーク 海中展望塔  
開館時間 9:00-17:00  
年中無休(荒天時 臨時休館あり)  
入館料 大人 900円 小人 450円  
TEL 0880-85-0201

### 3 海のギャラリー

貝と建築の造形美  
開館時間 9:00-16:00 (7, 8月 は 17:00 まで開館)  
休館日 木曜 (1/1-3日, 8/13-15 は 木曜も開館)  
入館料 大人 300円 小人 100円  
TEL 0880-85-0137

### 6 うみのわ uminowa

ジオパークと国立公園の情報が充実  
開館時間 9:00-17:00  
休館日 10月 から 6月の火曜日 (祝日を除く)  
年末年始 (12/29-1/3)  
TEL 0880-87-9500 入館無料

### グラスポート

海の上から海中散歩  
船の上から海中世界を覗いて見よう。  
シコロサンゴの周りを泳ぐ色とりどりの魚に出会える！

### 4 竜串観光汽船

TEL 0880-85-0037

### 5 たつくし海中観光

TEL 0880-85-1155  
乗船料 2社共通/大人 2,000円  
小学生 1,000円

竜串湾と竜串・見残し海岸が一望できる。弁天島付近を境に変化する地形にも注目。



展望台



人魚御殿

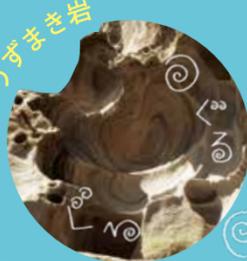


もやい柱

かつて船の係留時に縄をくくりつけた石の柱。石材の種類によって風化・侵食される速度が違う。



海水に含まれる塩が岩石の隙間を押し広げて壊し、やがて人魚の住まいにふさわしい空間を作り出した。



つずき岩

渦巻き岩という名前に關されてはいけない。地層の模様と風化・侵食が描き出した同心円状の様子が美しい。

屏風岩



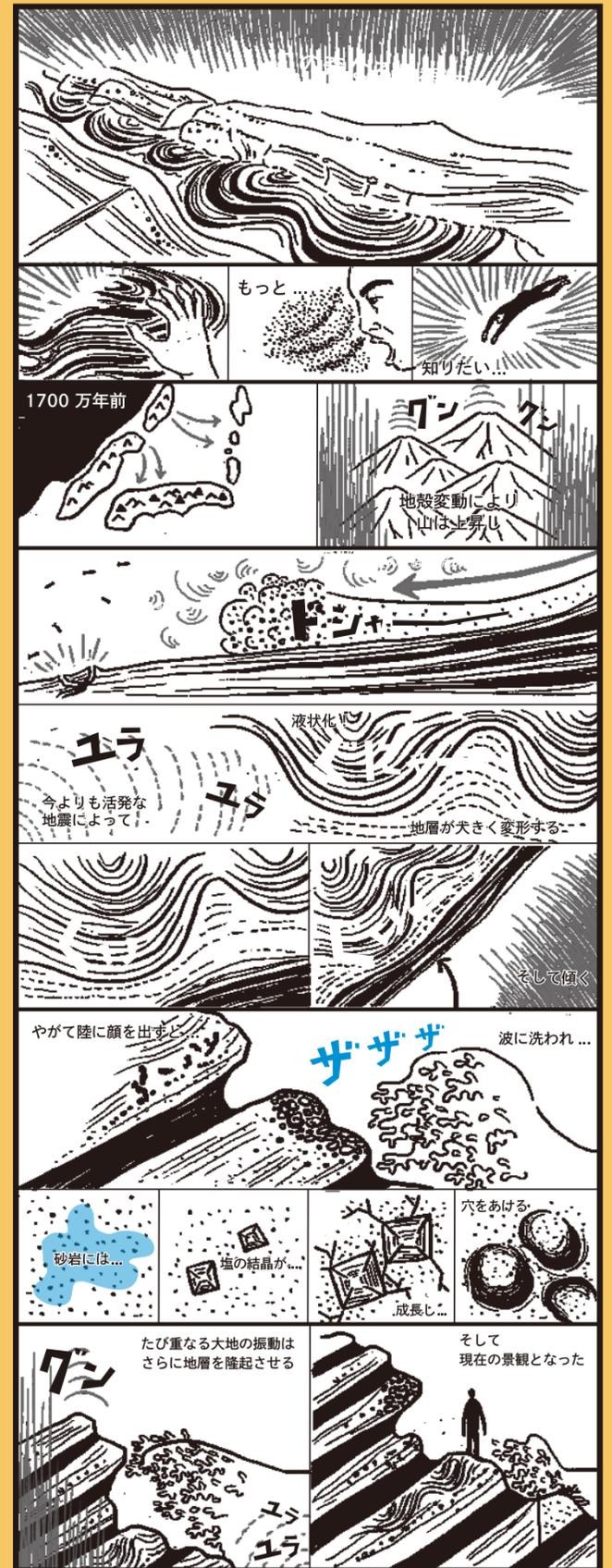
遊歩道の折り返し地点。岩場に降りると、そそり立つ雄大な岩の屏風に圧倒される。足元には十分注意して！

サイトマップ

## 見残し海岸

見残し海岸は、弘法大師空海が見残したことからその名がついたと伝わる。地球最初にして最高のアーティストである自然が作り出した造形美、見残すべからず。

## 竜串・見残し海岸 のなりたち



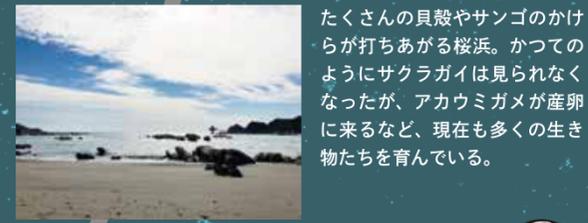
発行元 一般社団法人 土佐清水ジオパーク推進協議会  
〒787-0450 高知県土佐清水市三崎 4032-2  
TEL 0880-87-9590  
MAIL geopark@tosashimizu-geo.jp

2023.8 発行



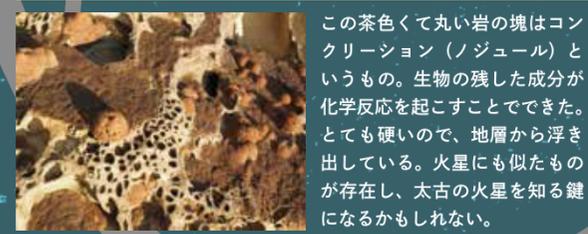
サイトマップ  
**竜串海岸**

**1 桜浜**



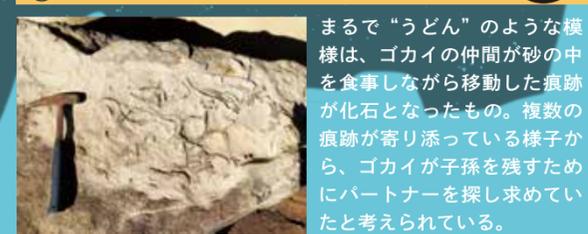
たくさんの貝殻やサンゴのかけらが打ちあがる桜浜。かつてのようにサクラガイは見られなくなったが、アカウミガメが産卵に来るなど、現在も多くの生き物たちを育てている。

**3 かぶと岩**



この茶色くて丸い岩の塊はコンクリーション（ノジュール）というもの。生物の残した成分が化学反応を起こすことでできた。とても硬いので、地層から浮き出している。火星にも似たものが存在し、太古の火星を知る鍵になるかもしれない。

**6 生き物の痕跡**



まるで“うどん”のような模様は、ゴカイの仲間が砂の中を食事しながら移動した痕跡が化石となったもの。複数の痕跡が寄り添っている様子から、ゴカイが子孫を残すためにパートナーを探し求めていたと考えられている。

**9 欄間岩**



まるで日本家屋の「欄間」のように見えるグニャグニャした地層は、海底で起きた地すべりによってできたと考えられている。竜串・見残し海岸には、このような変形した地層が数多くあるので、ぜひ探してみてください。

**2 千畳敷**



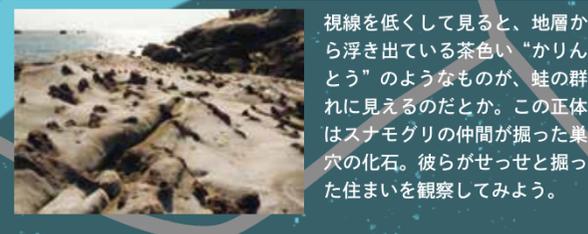
広くて平らな「千畳敷」は、波による風化・侵食によって平坦になった場所が、地震により隆起してできたといわれている。隆起したおかげで、波に滞ることなく海岸散歩を楽しめる。

**4 くじらばえ（軍艦）**



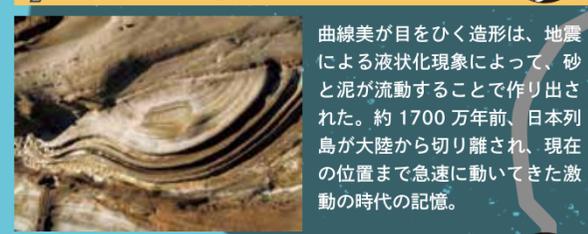
砂岩と泥岩が交互に重なった地層の中にある大きな砂岩の塊は「軍艦」の名前で親しまれている。竜串湾の海底では、このような岩が作る浅瀬にサンゴが定着し、豊かな生態系の土台をなしている。

**5 蛙の千匹連**



視線を低くして見ると、地層から突き出ている茶色い“かりんとう”のようなものが、蛙の群れに見えるのだとか。この正体はスナモグリの仲間が掘った巣穴の化石。彼らがせっせと掘った住まいを観察してみよう。

**7 しぼり幕**



曲線美が目をはく造形は、地震による液状化現象によって、砂と泥が流動することで作り出された。約1700万年前、日本列島が大陸から切り離され、現在の位置まで急速に動いてきた激動の時代の記憶。

**8 大竹小竹**



砂岩と泥岩が交互に重なった地層からなる竜串海岸。風化・侵食されやすい泥岩が波に洗われ凹み、砂岩でできた竹が姿を現した。竹の節は地層の割れ目によって流れた地下水の動きによって硬くなった部分。

**10 地層に残る漣痕**



水や風が砂を運んで作る波形の模様である漣痕は、しばしば地層の中にその姿をとどめることがある。竜串海岸にあるものは“波”によってできたもの。1700万年前にここが浅い海であった証拠である。

### 生き物の気配

— 足元を見つめる —

巣穴や這い跡など、生き物の暮らしの痕跡が化石となったものを生痕化石といいます。地層に目を凝らして見ると、スナモグリの仲間（エビに似た甲殻類）が巣穴の内壁を補強した痕跡や、ゴカイの仲間が子孫を残すための相手を探した痕跡といった、生き物たちのリアルな暮らしぶりが見えてきます。1700万年前の海底の様子を想像してみましょう。

### 変化する大地

— 地域を見つめる —

竜串・見残し海岸の独特な景観は、風化・侵食作用によって作り出されます。打ち寄せる波は少しずつ岩を削ります。海水が岩の中に染み込むこと、海水に含まれる塩が結晶となって岩の隙間を押し広げ、やがて岩肌は無数の穴を開けます。こうして海岸の姿形は今も少しずつ変化しているのです。現在の景観から、過去、そして未来の姿を想像してみましょう。

### 生きている大地

— 地球を見つめる —

竜串・見残し海岸で見られるグニャグニャに変形した地層は、海底で起きた地すべりや地震による液状化現象の痕跡です。竜串・見残し海岸の地層ができていた頃、大地は今よりもずっと激しく変動していたと考えられています。日本列島は大陸から切り離され、今の位置まで急速に移動していたためです。そんな激動の時代を想像してみましょう。